



大津市報道資料
市政記者各位

お問い合わせ先

担当者	大津市立葛川中学校		担当	教頭 川幡善寛	
連絡先	Tel :077-599-2007		内線		
総合計画 位置付け	基本方針	基本政策	施策	取組の 方向性	主な取組
	1	1	3	1	1

令和7年10月1日

地域創生の「葛川の鯖缶」づくりでのパッケージデザイン NPO 法人葛川共創ネットワークとのコラボ・完成贈呈会

本校では、葛川のことを“知ってもらい”“来てもらい”“住んでもらう”という「KCL活動」として、「ふるさと未来科（総合的な学習の時間）」を中心に小学校と9年間を見通したカリキュラムで取り組んでいます。1学期に地域で活動するNPO法人の呼びかけに答え、地域の鯖街道について学び、地域のアピールや“おみやげ開発”に協力するかたちで鯖缶のパッケージデザインを考案しました。

このたび、NPO法人の代表より、完成した製品の紹介と贈呈式を行います。

記

1 日時

令和7年10月9日（木）14:30～14:50

※ 生徒2人中1人でも欠席があれば延期【日時未定】

2 場所

大津市立葛川中学校（大津市葛川中村町108-1）077-599-2007
1年生教室

3 主催

大津市立葛川中学校、NPO法人葛川共創ネットワーク

4 事業概要

- ・1学期に、森氏をゲストティーチャーに招いて、鯖街道の歴史と、現在の若狭の鯖缶製造がどのような目的で、どのような製品づくりを目指すのかについて学んだ。
- ・鯖街道や鯖缶を通して、葛川について広く知ってもらいたいという思いを込めて、パッケージのデザイン案を考えた。
- ・1年生2人のアイデアをまとめた案を提出し、プロのデザイナーが製品にした。

※NPO法人葛川共創ネットワークについて

代表：森 洋（葛川学区社会福祉協議会会長・葛川まちづくり協議会委員）

<https://gawatarou.jp/>

※今回の鯖缶は、協賛者・出資者へ原価での販売と協力者へ贈呈されます。

児童生徒の肖像権について ※いずれかの（ ）に○を記入	
(○) 当日参加する全員の児童生徒の撮影が可能です。顔を正面から撮影することも可能です。	
() 当日参加する一部の児童生徒の撮影についてご遠慮ください。	
※撮影できない児童生徒は、当日に（校長・教頭・[] 教諭）がお知らせします。	
() その他お願ひしたいこと（児童生徒の顔が分からないように撮影することは、可能です。）	

